

# 新鷹巣診療所が着工

# 50年ぶりの土突で安全祈願

長島町国民健康保健鷹巣診療所新築工事安全祈願祭が12月21日、建設予定地である町役場隣接の職員駐車場敷地でありました。

これは、現施設の老朽化や駐

車場不足などの課題解決のため移転・新築されるもので、災害発生時の負傷者などの受け入れ施設としても利用される予定です。

県のかごしま材利用推進事業

(木造公共施設整備事業)を活用し、木造2階建ての延べ床面積約199.6平方メートル、総事業費約10億3600万円をかけて整備されます。

1階に診察室、2階に病室(1床11室、4床2室)などが配置され、内装材にも多くの木材が使用される予定です。

式には、地元や町関係者ら約60人が出席。川添健町長は「安全に十分気を付けて、町民が安心できる施設を完成させてほしい」と話しました。

式の後、今では見られなくなった、木造建築の際に束石を丸太で突き固める「土突」という伝統行事が行われました。

これは、町内で約50年前まで行われていたもので、地元住民らも一目見ようと見学に訪れました。

歌者の上傳さん(本町)の「土突歌」に合わせて、関係者らは、やぐらの真ん中につるされた丸太を「ヨイヤ」と威勢よく束石に落として地面を固め、工事の無事完成を祈願しました。



↑歌に合わせて、丸太を束石にドスンと落とす土突の様子

## 令和元年度長島フェスタ

# 歳末の催し大盛況



紅白餅に飛び付く参加者たち

長島フェスタ(産業・福祉・健康まつり)が12月1日、町文化ホールとB&G体育館周辺であり、約3500人が詰め掛けました。

特設ステージで行われたオーピングセレモニーでは、「野田郷島津太鼓」の演奏が始まり、山口正成実行委員長が「本町は一次産業の町。長島の農産物、海産物を楽しんで」とあいさつしました。

会場周辺では、各種団体の出店が軒を連ね、餅つきや農業委員会委員による家庭菜園教室、木の家の棟上げなどが行われ、

親子連れなどで大いににぎわいました。

館内では、品評会に出品された農産物の即売会、学校給食展、血圧測定などを体験できる健康相談・スタンプラリーが設けられました。

終盤には、農業用機械や特産品などが当たるお楽しみ抽選会があり、番号が読み上げられるたびに歓声が上がりました。

来場した大川清美さん(中南)は「お魚大抽選会でブリファイルが当たってうれしい」と満足げでした。